

令和2年台風第10号への派遣

- 全国の地方整備局等から、主に九州地方へ、のべ1,146人のTEC-FORCEを派遣。
- 大規模災害の発生に備え、台風接近前から、九州地整等約50人に加え、本省、研究所、各地整等から九州地方へ約50人のリエゾンを広域派遣。さらに、近畿以東の地方整備局等から約40台の排水ポンプ車等を九州地方へ向け前進配備。
- 発災後は、リエゾンによる自治体支援ニーズ・被災情報等の把握、防災ヘリコプターによる広域的な被災調査、土砂災害専門家による二次災害防止のための技術的助言を実施。

自治体支援ニーズの把握(リエゾン)

- ・台風の進路とこれまでの被災履歴等を踏まえ、リスク高い自治体へ重点的に派遣し自治体の支援ニーズの把握や、必要な助言等を実施。
- ・土砂災害が発生した宮崎県椎葉村において、同村に派遣したリエゾンが、いち早く情報収集を行い、土砂災害専門家の迅速な派遣につながった。



リエゾンによる被害状況の聞き取り
(宮崎県椎葉村)



県職員とリエゾンとの情報共有
(鹿児島県庁)



県職員とリエゾンとの情報共有
(長崎県庁)



市長からの聞き取りや情報共有
(長崎県壱岐市)

迅速な排水作業に備えた前進配備

河川の氾濫による浸水に備え、他地域より排水ポンプ車等約40台を前進配備。



前進配備する排水ポンプ車

広域被災調査

防災ヘリコプターにより、上空から土砂災害状況等を把握。



はるかぜ号による上空からの調査

二次災害防止への助言

土砂災害現場の復旧、捜索活動において、二次災害防止のための技術的助言。



二次災害防止のための助言
(宮崎県椎葉村)

被災映像の配信

土砂災害発生現場へ衛星通信車を派遣し、被災映像を椎葉村等へ配信。



衛星通信車による被災映像の配信
(宮崎県椎葉村)